

2026-08-20

1. Claude が設計したタンパク質バインダー、15標的中 14で結合成功
2. OpenAI、フロンティアモデルでも Zero Data Retention を続けると明言
3. Cursor の Cloud Agents が大型更新

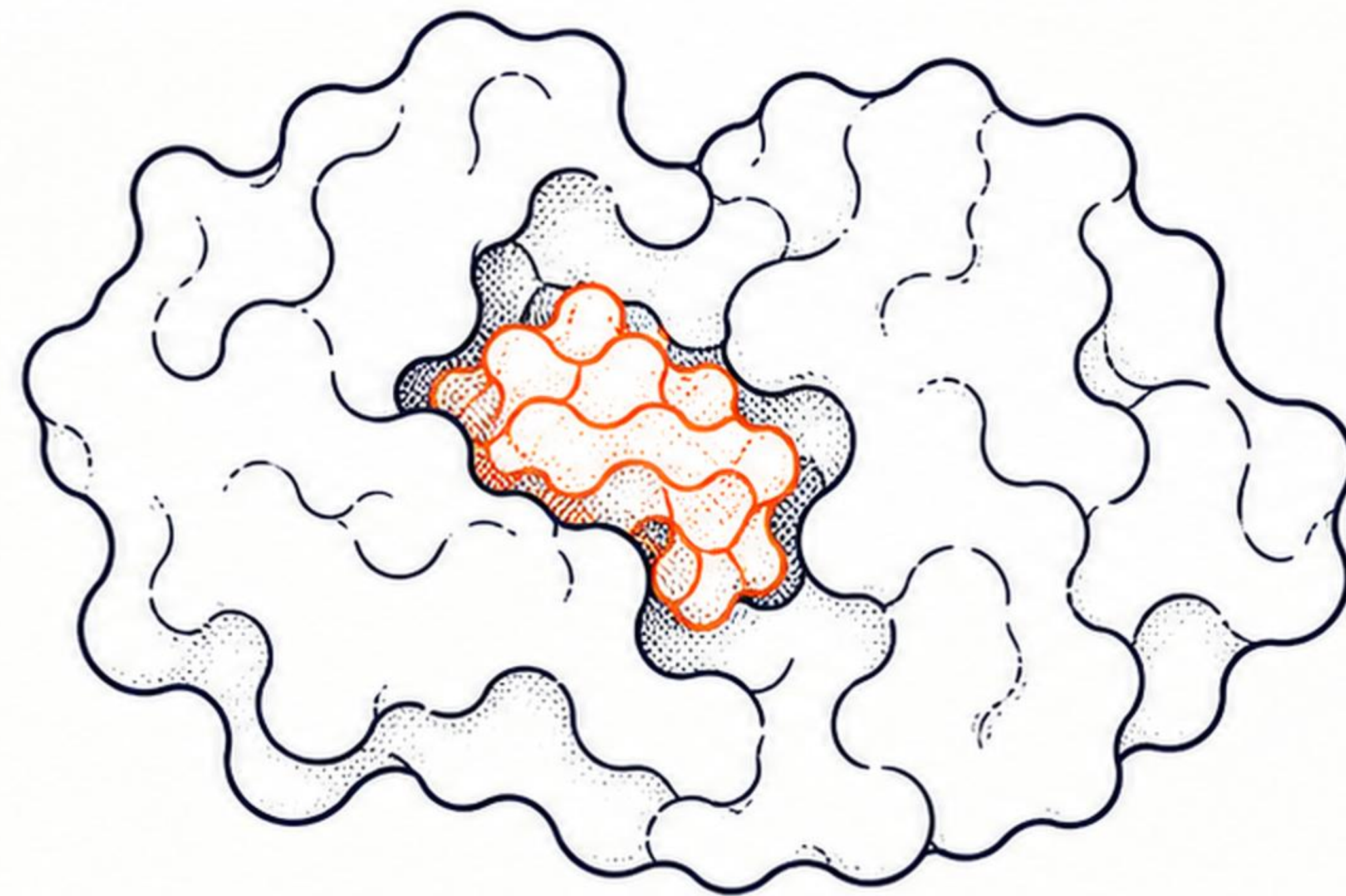
7トピック

Claude が設計したタンパク質バインダー、15標的中14で結合成功

業界標準の2～3倍のヒット率

Anthropic が、Claude にゼロからのタンパク質ミニバインダー設計をやらせた実験の結果を公開した。

- ミニバインダーは標的タンパク質に強く結合する小さなタンパク質。従来は1標的あたり数ヶ月の計算・最適化…
- 15 標的中 14で成功。少なくとも6標的で高親和性バインダーを得て、少なくとも4標的では既報の最良親和性に並んだ
- ヒット率 22.6～26.7% (複数標的モード) / 35.1% (単一標的モード) に対し、分野の典型値は 10～15%



ベンチマークの点数と違って、結合したかどうかは外部の実験室が物理的に確かめている。

OpenAI、フロンティアモデルでも Zero Data Retention を続けると明言

「Private Safety Processing」をプレビュー

OpenAI が、フロンティアモデルについても API 顧客向けの Zero Data Retention (処理後にプロンプトと応答を保持しない) を続けると表明した。

- ZDR の約束は「リクエスト処理後にプロンプトとモデル応答を保持しない」「顧客コンテンツを OpenAI...
- 背景にあったのは、一部のフロンティアモデル提供が「安全監視のために機密内容の保持を顧客に飲ませる...
- Private Safety Processing は、関連する複数のやり取りにまたがって保護を広げつつ...



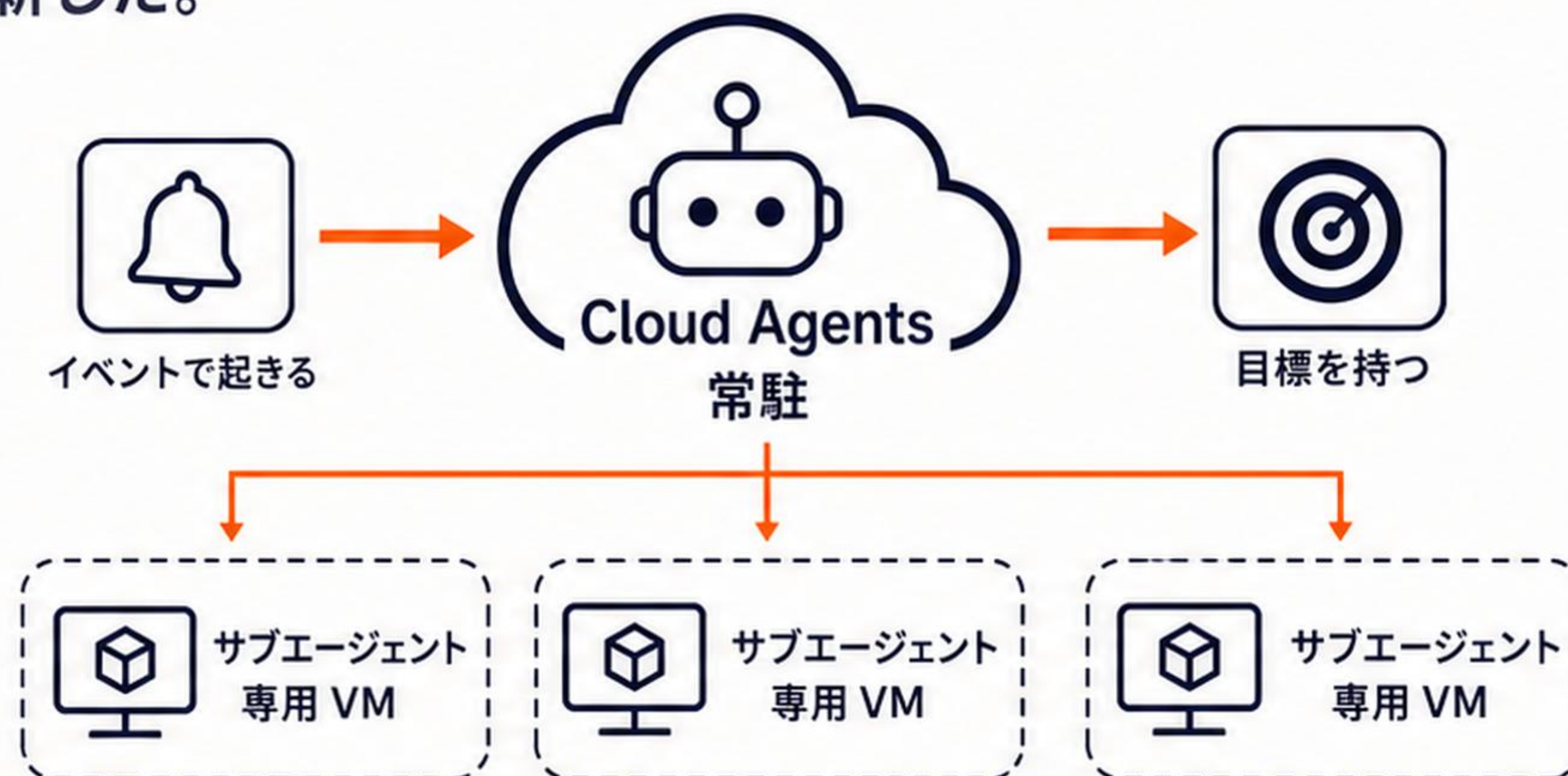
エージェントを業務に入れるときに必ず出る「うちのデータはどこに残るのか」に、提供側が技術で当てにきた。

Cursor の Cloud Agents が大型更新

イベントで起きる、目標を持つ、サブエージェントに専用 VM

Cursor がクラウドエージェント周りをまとめて更新した。

- イベント駆動: Cursor Agent がスレッドや会話を購読し、何か起きたときに起きる。自分が作った PR...
- ``/goal``: 長期の目標を渡して完了するまで働かせる。公式の例は「flaky なテストを全部直して CI をグリーンにする」
- サブエージェントが1体ごとに隔離された VM とプロジェクトのクリーンコピーを持つ...



「1回聞いて1回答える」から「目標を持って常駐し、外の出来事に反応する」への移行が、また1つ実装として出た。

Codex が誤ってファイルを消す問題、OpenAI が原因と5層の対策を公表

OpenAI の Codex 責任者が、GPT-5.6 搭載 Codex がユーザーの依頼していないファイル削除をした少数の報告について、調査結果と対策を公開した。

- 失敗モードは2つ。`\$HOME` などのシステム環境変数を一時作業に流用し…
- モデル指示の層：削除対象を実行前に確認する／一時ディレクトリは毎回新規に作る／システム環境変数を流用しな…
- 実行時の層：高リスクな削除コマンドを検出してレビューへ回す。弾かれたらより安全な方法へ誘導する



「AI が暴走した」ように語られがちな事象の実体が、
`rm -rf "\$VAR/tmp"` で ``\$VAR`` が空になると親を消す、という古典的なシェルの罠だった。

Codex CLI v0.148.0 と Claude Code 2.1.235 が同日リリース

直っているのは「長く回したときに効く」ところ

08-18 に Codex CLI v0.148.0（約300コミット、新機能6・バグ修正6領域）と Claude Code 2.1.235（CLI 変更19件）が相次いでリリースされた。

- Codex CLI の新機能: `/export`（TUI の会話を Markdown へ書き出し）、Amazon Bedrock Runtime...
- Codex CLI の修正: モデル切替や設定更新がコンテキストに古い指示を残さなくなった...
- Claude Code 2.1.235: ローカルの aspell/hunspell/ispell を使ったプロンプト入力のスペルチェック（任意設定...



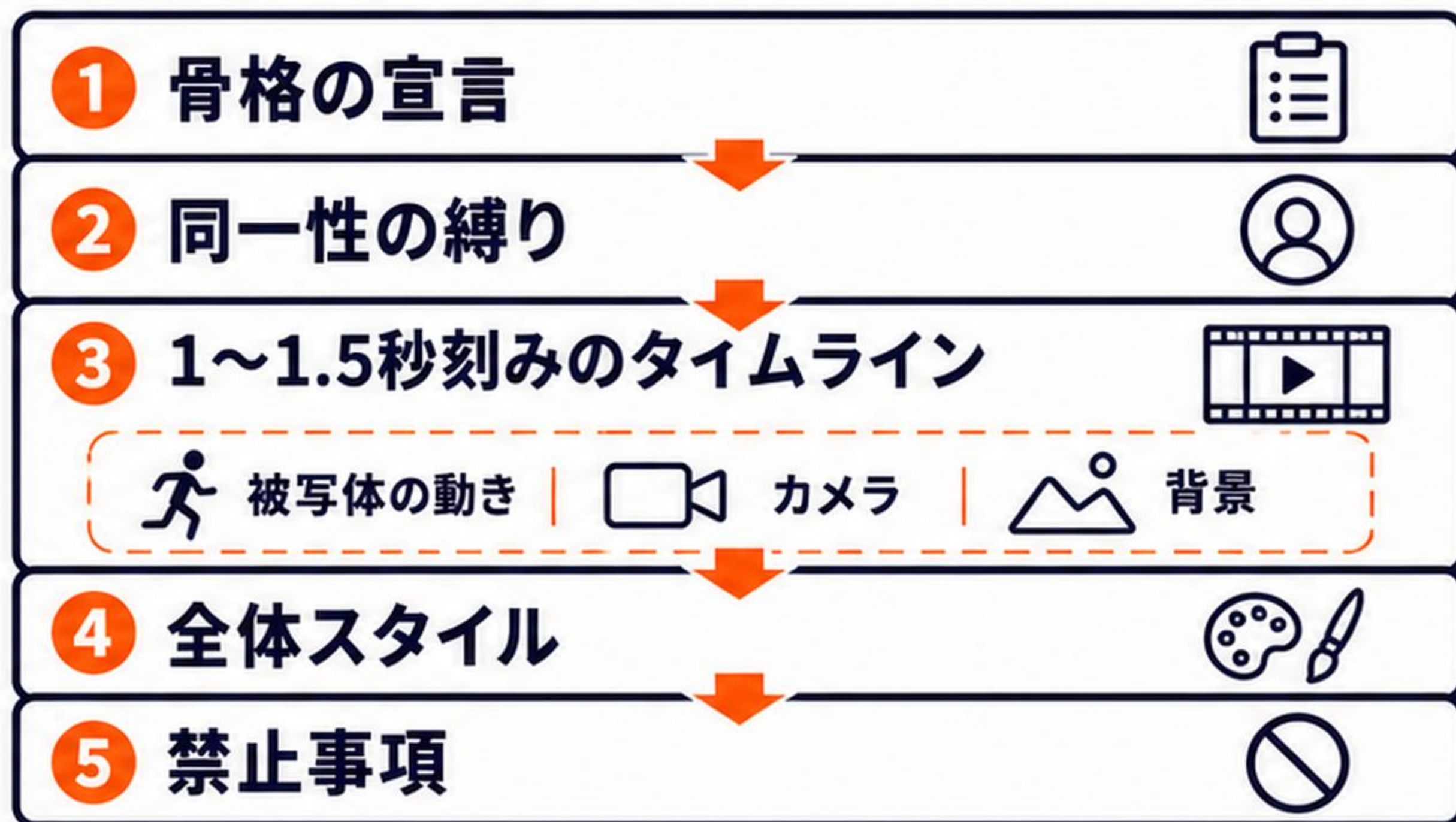
両者とも「長時間・複数セッションで回す」前提の修正に寄っている。

〈知見〉動画生成プロンプトは「カット表」で書く

MiniMax H3 の実例3本に共通する5層

MiniMax H3 でモーショングラフィックスを作った実例が3本まとめて出てきた。

- 共通する5層構造：骨格の宣言 → 同一性の縛り → 1～1.5秒刻みのタイムライン → 全体スタイル → 禁止事項
- 各時間ブロックには「被写体の動き・カメラ・背景」の3要素を必ず書く。`CUT 07 | 6.00-7.00s -…`
- キャラクターの見た目（顔・体型・肌の色・服装）は冒頭で1回だけ宣言し、各カットでは繰り返さない。繰り返すと指示が競合する



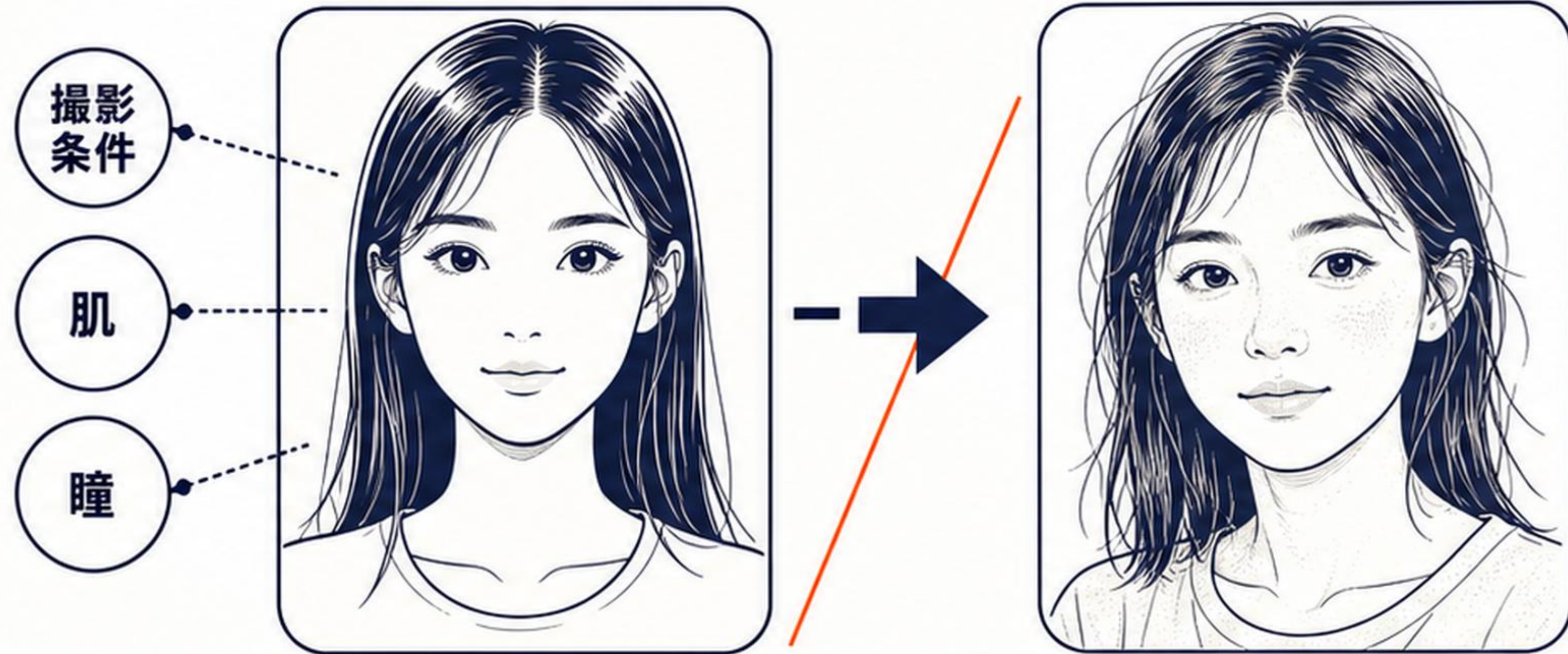
ショート動画の内製では、1本あたりの試行回数がそのままコストになる。

〈知見〉画像生成の「AI 感」は引き算で消す

撮影条件を書くほど実感が出る

人物写真の生成で「AI っぽさ」を消す追加プロンプトを18本まとめたスレッド。

- 撮影条件を落とす: 高性能カメラではなくスマートフォンで撮影した日常のスナップ質感にする／窓から入る自然光…
- 肌: 均一になめらかにせず、毛穴・産毛・薄い赤み・自然な陰影を控えめに残す。CG 的質感・過度な美肌加工…
- 瞳: 大きくしすぎず、自然な白目の量・左右差・まぶたの厚みを残す



3日前に配信した @kimuai08 の Web デザイン版と構造が同じで、AI 感は「未定義の変数をモデルが分布の平均で埋める」ことから生まれる。

本日のトピック一覧

- 1. Claude が設計したタンパク質バインダー、15標的中14で結合成功**
- 2. OpenAI、フロンティアモデルでも Zero Data Retention を続けると明言**
- 3. Cursor の Cloud Agents が大型更新**
- 4. Codex が誤ってファイルを消す問題、OpenAI が原因と5層の対策を公表**
- 5. Codex CLI v0.148.0 と Claude Code 2.1.235 が同日リリース**
- 6. 〈知見〉動画生成プロンプトは「カット表」で書く**
- 7. 〈知見〉画像生成の「AI 感」は引き算で消す**

2026-08-20